

資料No.1

国民健康保険システム標準化
合同ワーキングチーム

令和4年7月22日

国民健康保険システム標準化 合同ワーキングチーム

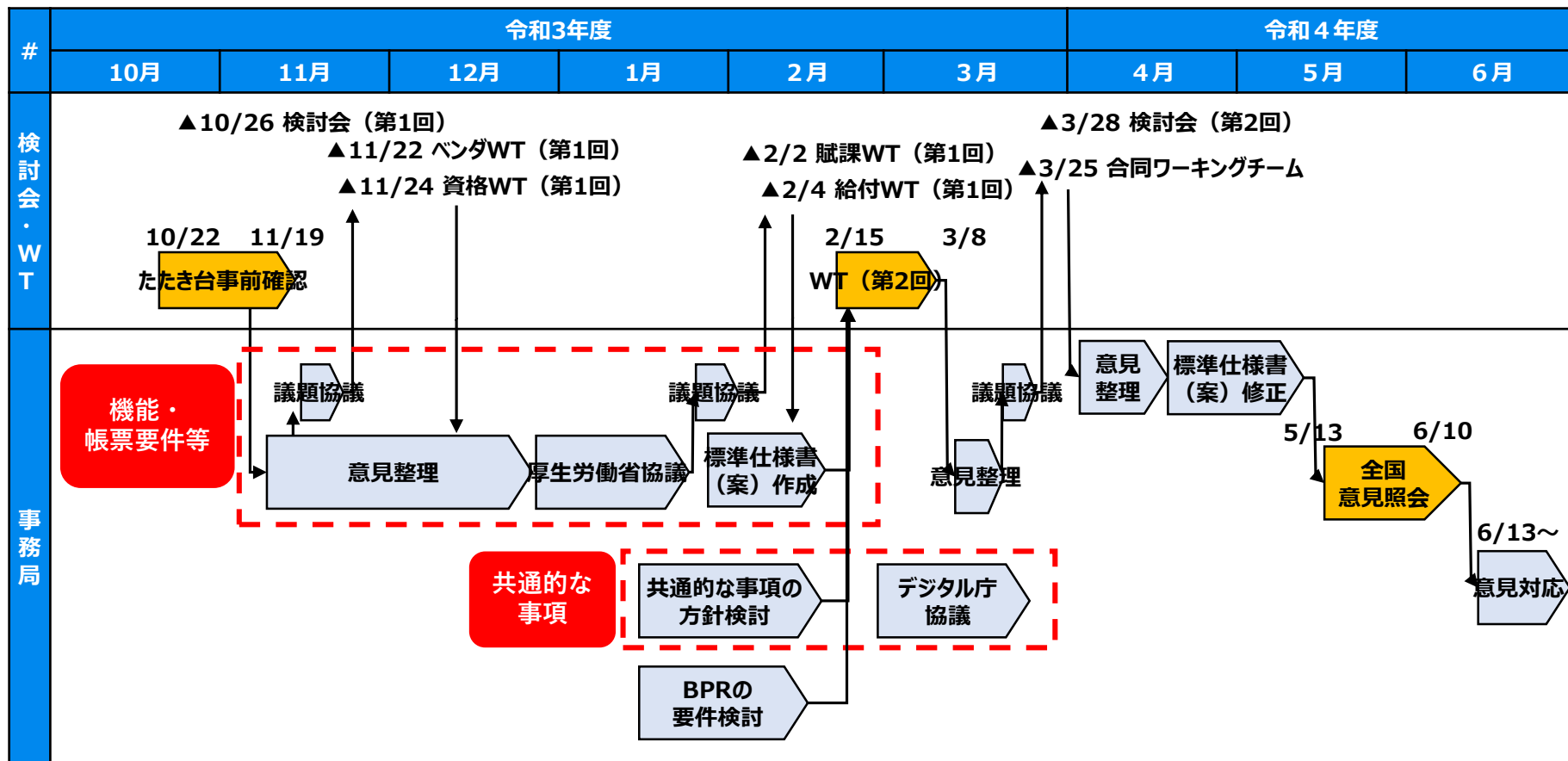
令和4年7月22日

目次

1. 標準化検討におけるこれまでの実施内容
2. 全国意見照会の実施結果
3. ご意見への対応方針
4. 今後の予定とご依頼事項
5. 第3回検討会の実施内容（予定）

1. 標準化検討におけるこれまでの実施内容

- これまでの標準化検討においては、事務局が作成した標準仕様書（案）のたたき台に対して構成員にご意見をいただき、その中で複数の構成員で意見が割れているもの、事務の統一や業務の在り方を検討する必要があるもの等について、さらに資格／賦課／給付管理及びベンダの各ワーキングチーム（以下「WT」という。）にて議論させていただいた。
第2回WT以降においては、事務局が作成した共通的な事項の検討資料や、たたき台に対するご意見を反映した標準仕様書（案）をご確認いただき、再度議論を行ったうえで、第2回検討会を経て標準仕様書（案）を取り纏めた後、全国意見照会を実施した。
今般、全国意見照会にていただいたご意見について、事務局にて対応方針の整理等を実施したところ。



2. 全国意見照会の実施結果

○ 令和4年5月13日～6月10日に実施した国民健康保険システム標準仕様書（案）全国意見照会でいただいた標準仕様書（案）の本紙及び別紙に対するご意見数は以下の通り。

#	業務	標準仕様書（案）	意見分類（※1）				質問（※2）	合計
			表現修正・誤植	要件追加	要件縮小・削除	その他		
1	－	本紙	26	45	2	44	9	126
2	システム 共通	機能・帳票要件	18	153	3	23	1	198
		帳票詳細要件・レイアウト	0	6	0	2	0	8
3	資格管理	業務フロー	1	15	1	11	0	28
		機能・帳票要件	39	450	23	58	2	572
		帳票詳細要件・レイアウト	63	123	29	43	0	258
4	賦課管理	業務フロー	2	10	0	5	0	17
		機能・帳票要件	8	432	10	31	1	482
		帳票詳細要件・レイアウト	81	129	43	69	1	323
5	給付管理	業務フロー	5	6	1	6	1	19
		機能・帳票要件	47	442	2	13	3	507
		帳票詳細要件・レイアウト	90	92	42	43	1	268
6	収納管理	業務フロー	0	3	1	2	0	6
		機能・帳票要件	36	178	6	33	4	257
		帳票詳細要件・レイアウト	61	82	55	67	0	265
7	滞納管理	業務フロー	7	3	0	2	0	12
		機能・帳票要件	32	108	4	23	1	168
		帳票詳細要件・レイアウト	191	112	96	39	0	438
8	全業務	機能・帳票要件	0	0	0	1	0	1
		帳票詳細要件・レイアウト	0	5	0	0	0	5
合計		－	707	2,394	318	515	24	3,958

※1 回答する市町村にて、回答時に付していただいた意見分類。

※2 照会期間終了までに市町村から受け付けた質問のうち、ご意見として取り扱い、対応の検討を行ったもの。

2. 全国意見照会の実施結果

○ 公金受取口座の機能要件（案）に対するご意見数は以下の通り。

#	業務	機能要件（※1）							合計
		①	②	③	④	⑤	⑥	その他	
1	公金受取口座	7件	5件	5件	9件	7件	8件	3件	44件

※1 機能要件①：各種申請書に公金給付口座の利用に同意する旨を記載する欄を設けること。

機能要件②：申請書に記載される公金給付口座の利用有無を登録、管理できること。

機能要件③：申請情報を一括で登録する場合、公金給付口座の利用有無を登録できること。

機能要件④：利用目的に即した事務手続きにより、公金給付口座を情報照会できること。

機能要件⑤：支給決定日もしくは支給年月日の期間および該当の事務手続きを指定し、公金給付口座を一括で情報照会できること。

機能要件⑥：公金給付口座を情報照会した結果、照会できなかったものおよび公金給付口座の登録が廃止されているものを確認できること。

○ 仮算定（暫定賦課）及び高額療養費貸付（受領委任）の実施状況調査の結果は以下の通り。

#	業務	実施状況(団体数)		実施件数 (令和3年度4月～3月決定分)
		実施	未実施	
1	仮算定（暫定賦課）	498 団体	1,164 団体	—
2	高額療養費の貸付	818 団体	844 団体	合計：3,270 件 平均：4.0 件
3	高額療養費の受領委任	616 団体	1,046 団体	合計：9,477 件 平均：15.4 件

合計：全団体の実施件数の合計
平均：合計件数÷実施団体数

3. ご意見への対応方針

- 全国意見照会でいただいたご意見は、標準仕様書への反映について「議論の対象とすべきもの（法令に反するといった趣旨の指摘等）」と「議論を必要としないもの（誤植等の指摘、標準化の趣旨に沿わない意見等）」が混在していた。従って、事前にWT構成員へご案内した通り、これらを細分化し、下記10分類（#10を新規追加）と、分類毎に対応区分を定め、ご意見の分類作業及び対応を行った。

#	分類	分類の基準	対応区分（※1）		
			対応見送り	記載修正	仕様変更検討
1	質問	ご意見ではなく質問であり、仕様書の関連箇所の記載は十分であるため修正が不要となるもの。	○	-	-
2	範囲対象外	標準仕様書の対象範囲外に対するご意見であるもの。	○	-	-
3	今後対応予定	BPRに関するもの等、今後検討を行う事項に対してのご意見であり、現時点では仕様書は修正せず、今後の参考情報とさせていただきます。	○	-	-
4	利便性向上	使いやすさ、見やすさ等を理由とした改善要望となるが、ベンダの創意工夫に委ねられるものや市区町村により考え方が様々あり一定の基準を定めることができないもの等といった理由から対応しないもの。ただし、多数のご意見があり、標準化の趣旨から逸脱しないものについては、分類#8「多数意見」とする。	○	-	-
5	記載修正	誤植の指摘や、他の記載との不整合等、ご意見の通りに修正するのみのもの。	-	○	-
6	経緯・補足修正	仕様書の記載が不十分であるためにいただいたご意見であるため、経緯等の追記を行う必要があるもの。	-	○	-
7	制度	制度に基づいた変更要望であり、修正すべきと考えるもの。	-	○	○
8	多数意見	過去の構成員ご意見も含め、複数団体から同様のご意見があり、対応要否の判断が必要と考えられるもの。	-	○	○
9	運用影響あり	ご意見の内容の機能がないと業務が遂行できず、代替手段がない等、運用に影響があり、対応要否の判断が必要と考えられるもの。	-	○	○
10	その他	これまでの検討会等で議論された内容に関するご意見や、他制度と足並みを揃えて検討が必要なご意見等、#1～9に該当しないもの。	○	-	-

※1 各対応区分の内容と、関連する資料を以下に示す。

#	対応区分	対応内容		関連資料
1	対応見送り	ご意見に対して、標準仕様書へ反映しない理由や根拠等を示す。WT構成員においては、事務局の判断が正しいかをご確認いただく。		●【別添①】ご意見一覧
2	記載修正	誤植や機能の見直しが必要と考えるものについて、標準仕様書（案）の記載修正を行い、標準仕様書（第1.0版）として作成する。WT構成員においては、修正を行った箇所とその理由が正しいかをご確認いただく。		●【別添①】ご意見一覧 ●【別添②】標準仕様書（第1.0版）（案）
3	仕様変更検討	デジタル庁の方針に従うべき事項	他業務と足並みを揃える必要があるもの、デジタル庁より横並び修正の方針が示されるものについては、事務局にて方針に従い可能な限り標準仕様書（第1.0版）に取り込む。	●【資料No.1別紙1】横並び事項一覧（詳細は後述）
		WTで議論が必要な事項	対立するご意見をいただいた等、事務局にて判断がつかなかったものについて、WTで議論を行う。議論後、必要に応じて標準仕様書（第1.0版）として修正及び経緯欄への追記を行う。	●【資料No.2】全国意見照会結果の検討内容について

3. ご意見への対応方針（分類結果）

○ 前頁にお示した10分類にご意見を分類した結果は以下の通り。

分類		質問	範囲 対象外	今後 対応予定	利便性 向上	記載修正	経緯・補足 修正	制度	多数意見	運用影響 あり	その他	
対応区分		対応見送り				記載修正		記載修正・仕様変更検討			対応見送り	
1	－	本紙	5	16	23	5	35	0	0	23	0	19
2	システム 共通	機能・帳票要件	9	36	76	0	17	4	0	20	0	36
		帳票詳細要件・レイアウト	2	0	0	0	0	0	0	1	0	5
3	資格管理	業務フロー	21	1	1	3	2	0	0	0	0	0
		機能・帳票要件	163	13	9	125	48	2	12	102	37	61
		帳票詳細要件・レイアウト	21	0	1	27	57	0	8	35	4	105
4	賦課管理	業務フロー	2	1	0	0	1	0	1	0	0	12
		機能・帳票要件	34	20	8	95	29	5	18	67	1	205
		帳票詳細要件・レイアウト	30	13	21	40	26	0	6	86	0	101
5	給付管理	業務フロー	1	0	1	2	6	0	0	2	0	7
		機能・帳票要件	7	11	5	127	38	0	0	14	0	305
		帳票詳細要件・レイアウト	12	6	32	48	36	0	0	19	1	114
6	収納管理	業務フロー	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		機能・帳票要件	141	19	8	13	15	0	7	24	1	29
		帳票詳細要件・レイアウト	96	0	0	73	28	0	6	33	11	18
7	滞納管理	業務フロー	6	0	0	0	5	0	0	0	1	0
		機能・帳票要件	73	5	7	14	9	1	14	25	2	18
		帳票詳細要件・レイアウト	93	5	0	174	49	0	1	20	46	50
8	全業務	機能・帳票要件	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
		帳票詳細要件・レイアウト	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0
合計		－	722	146	193	746	401	12	73	477	105	1,083

3. ご意見への対応方針（ご意見一覧）

- 前述した10分類及び3つの対応区分に基づき、事務局にて各ご意見に対して分類・理由等を記載し、一覧化したご意見一覧をお示しする。（「【別添①】ご意見一覧」参照）

なお、ご意見一覧は意見照会を行った対象物毎に、以下の6シートに分けて作成している。

- ・「集計結果_②本紙」
- ・「集計結果_③（別紙1）業務フロー」
- ・「集計結果_④（別紙2）機能・帳票要件」
- ・「集計結果_⑤（別紙3）帳票詳細要件・（別紙4）帳票レイアウト」
- ・「集計結果_⑥公金受取口座」
- ・「集計結果_実施状況調査」

【ご意見一覧のイメージ】

前述した分類・対応区分を記載。

対応区分が「対応見送り」の場合、理由等を記載。

意見分類	意見内容	意見の理由	参考	ご意見整理		
				分類	対応区分	理由・根拠
2.要件追加	「手続等に係る時間、場所その他の制約を除去するとともに、当該事務及び業務の自動化及び共通化を図り、もって手続等が利用しやすい方法により迅速かつ的確に行われるようにすること。」を追加する。	国保手続きのオンライン化により、利用者の利便性と自治体の国保事務の生産性向上を目指すべきである。	「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」第二条第一項	今後対応予定	回答作成	手続きのオンライン化については、国保のみならず、デジタル庁より各省庁に対応が依頼されている状況であることから、今後デジタル庁と協議を行いながらお示していく予定となります。
4.その他	Q&Aの項番47に地方単独医療費助成制度については、「独自に調整する額の算出においては、市区町村が国民健康保険システム外で実施し、独自に調整した額を国民健康保険システムに登録するといった事務処理を想定」とあるが、大多数の市区町村に地方単独医療費助成制度がある中で、国民健康保険システム外のサブシステムで対応すると、全国的にかなりの費用と労力がかかることが想定されます。公費負担番号が入っている地方単独医療費助成シズトについては、パラメータの設定等で国民健康保険システムで対応できるように変更をお願いします。	全国的なシステム経費の増加		範囲対象外	回答作成	地方単独事業の取扱いに関しては、検討を行った上で可能な限り取り込んでおり、一定の地方単独公費を考慮した高額療養費の算定等は可能であると考えておりますが、標準仕様書の範囲内で対応できない独自の算出が必要な場合においては、外付けシステムで対応していただく想定とさせていただきます。

- また、ご意見一覧については、他業務と同様に公開はしない方針とし、標準仕様書（第1.0版）の公開をもって、各市区町村においてご意見の反映有無をご確認いただくこととする。

3. ご意見への対応方針（デジタル庁が示す横並び事項）

- 各業務の標準仕様書間で記載を統一すべき事項（以下「横並び事項」という。）について、デジタル庁にて検討が進められている状況。方針が示され次第、標準仕様書（第1.0版）公開に向けて可能な限り取り込むこととし、取り込むことができなかったものについては、令和4年9月以降に標準仕様書（第1.1版）として取り込み公開する予定。

現時点、デジタル庁から示されている横並び事項を以下に示す。（デジタル庁にて検討中の内容及び国保における標準仕様書の記載修正予定の内容について、「【資料No.1別紙1】横並び事項一覧」参照）

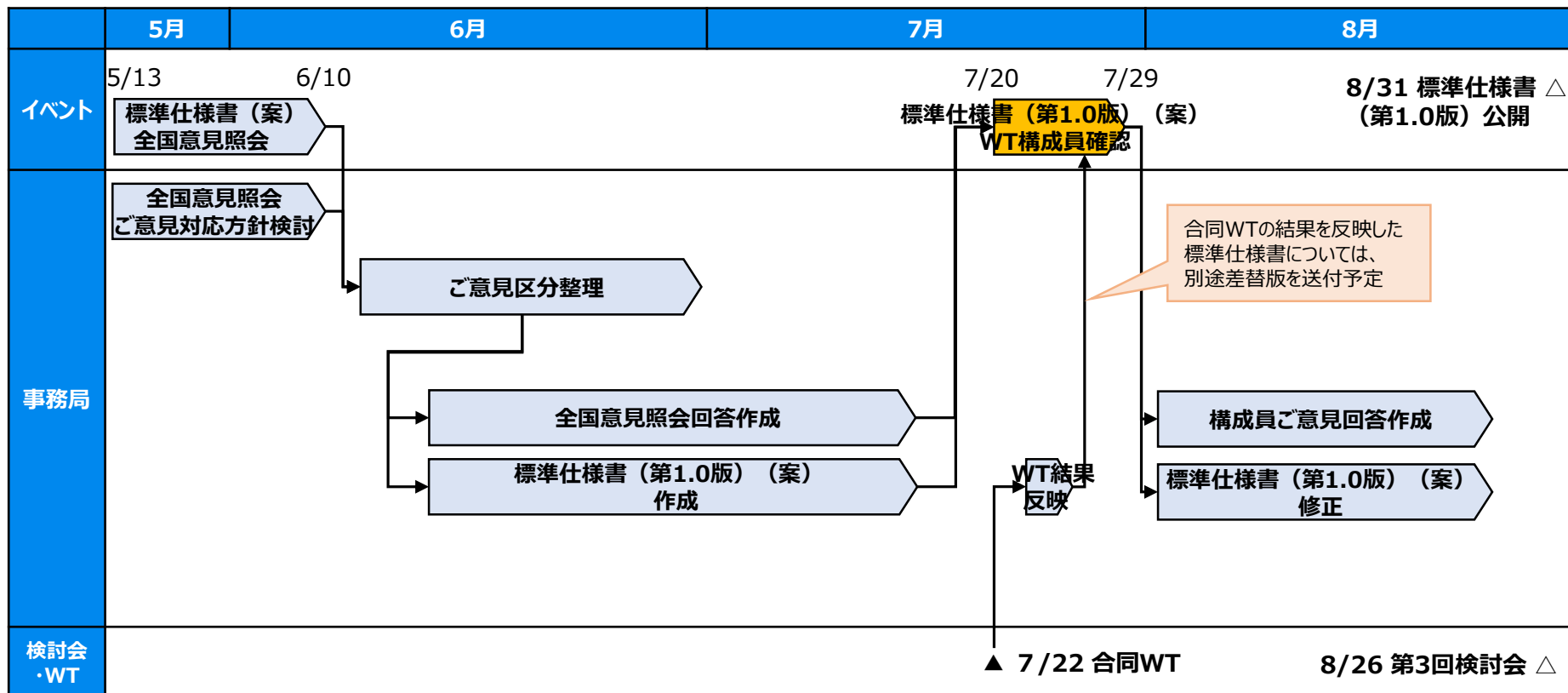
なお、横並び事項については、別途デジタル庁にて全国意見照会が予定されており、内容に変更が生じる場合がある。

【横並び事項】

- 中間標準レイアウトや地域情報プラットフォームの引用に関すること
- 文字要件に関すること
- 公的給付支給等口座に関すること
- DV等支援措置に関すること
- 宛名番号に関すること
- 住登外者宛名番号に関すること
- 団体内統合宛名番号に関すること
- 統合収滞納管理に関すること
- EUCに関すること
- 操作権限設定・管理に関すること
- 本文の構成に関すること
- 標準仕様書のファイル形式及びレイアウトに関すること
- 庁内データ連携に関すること
- 金融機関マスタに関すること
- 住所マスタに関すること
- 検索文字入力に関すること
- 大量印刷に関すること
- バッチ処理／一括処理に関すること
- バーコード、QRコードに関すること
- マイナポータルぴったりサービスに関すること
- 引っ越しOSSに関すること

4. 今後の予定とご依頼事項

- 令和4年8月末の標準仕様書（第1.0版）公開までのスケジュール（案）を以下に示す。



- 全国意見照会の結果を取り込んだ標準仕様書（第1.0版）（案）について、WT構成員にご確認いただいたうえで第3回検討会にお諮りし、令和4年8月末に標準仕様書（第1.0版）を公開する予定としている。

そのため、標準仕様書（第1.0版）（案）について下記の観点で内容をご確認いただき、確認結果を令和4年7月29日までに事務局へ提出いただきたい。

【標準仕様書（第1.0版）（案）確認観点】

- ご意見一覧において事務局が作成した分類等に著しい誤りがないこと。（検討すべき事項の見落としがないこと）
- ご意見一覧のうち対応区分が「記載修正」となっているものが標準仕様書に取り込まれていること。
- デジタル庁の横並び事項（取り込み可能と整理したもの）が標準仕様書に取り込まれていること。
- 本WTで議論した結果が標準仕様書に取り込まれていること。 ※別途差替版を送付予定

5. 第3回検討会の実施内容（予定）

○ 令和4年8月26日に予定している第3回検討会では、以下の事項についてお諮りする予定。

#	事項	内容
1	全国意見照会の対応結果について	全国意見照会でいただいたご意見が事務局にて整理され、標準仕様書（第1.0版）（案）として反映されていること。
2	令和3年度の申し送り事項について	<p>令和4年3月28日の第2回検討会にてお示した「【資料No.4】検討・課題事項一覧」について、消し込み又は状況の更新が行われていること。（現時点の状況については「【資料No.1別紙2】国民健康保険システム標準化_検討・課題事項一覧_20220720」参照）</p> <p>【令和3年度末の課題・検討事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 退職者医療制度に関連する機能の取扱いについて ● 仮算定処理機能の取扱いについて ● 高額療養費貸付（受領委任）に関連する機能の取扱いについて ● マイナポータル・ぴったりサービスに関する仕様の取込みについて ● 引っ越しワンストップサービスに関する仕様の取込みについて ● 公金受取口座に関する仕様の取込みについて ● 管理項目・EUC項目・文字数の見直しについて ● 帳票のユニバーサルデザインについて
3	デジタル庁方針（横並び事項）の取り込み結果について	デジタル庁から示されている横並び事項が、標準仕様書（第1.0版）（案）として反映されていること。取り込めなかったものについては標準仕様書（第1.1版）で取り込む予定として課題管理されていること。

○ 上記事項について検討会へお諮りし、標準仕様書（第1.0版）（案）が確定した後、令和4年8月31日に標準仕様書（第1.0版）を公開する予定。